

兵庫保険医新聞

第2087号

2024年11月25日

発行所 兵庫県保険医協会
http://www.hhk.jp/

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31
神戸フコク生命海岸ビル5F ☎078-393-1801
(1部350円送料共・年間購読料12,000円)
振替01190-1-2133
(会員の購読料は会費に含まれています)

今号の記事

主張「保険証残せ」の運動を息長く続けよう 2面

近畿ブロック・歯科診療報酬改善求め厚労省に要請 4面

研究 診内研より「臨床現場での歩行障害へのアプローチ」 6面



総選挙結果を受け、保険証存続、社会保障拡充を実現する取り組みを進めることなどを確認

第104回評議員会・臨時決算総会・第47回共済制度委員会を開催

保険医の要求実現に力尽くそう

あるべき医療の「デジタル化」の姿とは。協会は11月17日、協会会議室で第104回評議員会・臨時決算総会・第47回共済制度委員会を開催した。評議員ら89人が参加し、24年度前半期会務報告と後半期の重点課題および前半期予算執行実績と後半期見通しが承認された。特別講演は「あるべき医療DXの姿——ITゼネコンと政府の思惑を超えて」をテーマとして、Google日本法人元代表取締役社長の辻野晃一郎氏が講演した。



特別講演 Google日本法人元代表取締役社長 辻野晃一郎氏

西山裕康理事長は、「来月2日に保険証の新規発行が停止されるが、国民の大多数が反対する政策は許してはならない。衆議院選挙で当選した議員の55%が反対し、立憲民主党は延期法案を提出した。『保険証を残す』まであと一歩だ」「今の診療報酬では、医療そのものが産業として成り立たない。診療報酬の大幅引き上げが必要。皆様のご理解と協力をお願いしたい」とのこと。

特別講演では、辻野氏が、Googleなどでの経験を踏まえながら、DXとは「ITの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること」だが、日本のDXはデジタル庁という新しい縦割り組織が上から押し付け、ゼネコン体質であり、本来のDXの方向に沿ってないことを指摘した。

武村義人副理事長が前半期会務報告として、防衛費2倍化、診療報酬マイナス改定や薬剤の保険外しなど社会保障費抑制を進めた岸田内閣が退陣し、石破首相の下での総選挙で与党が過半数割れしたこと、医療現場の実態を踏まえないDXが企業への利益供与ありきで推し進められていることなどを報告。後半期活動にあたって、来年7月に予定されている参議院選挙では、大企業の社会的責任で医療・社会保障の拡充を求める世論を高める取り組みを進め、保険証廃止の撤回など、開業保険医の要求実現に力を尽くすの方針を示した。

討論では16人から、総選挙結果を受け国民生活の立場に立った政策を求める意見や、オンライン資格確認義務化・保険証廃止の運動の強化を求める意見、支部での企画や渉外団体との取り組み紹介、組織強化月間への協力呼びかけなど、活発な発言があった。

燭心

漢字の二字熟語で音訓を混ぜて読む場合、上の字を音、下の字を訓読みで読むのと、逆に訓音の順で読むものがある。例えば「台所」「縁組」等の読み方を「重箱読み」、「手本」「消印」等を「湯桶読み」というのは周知のことだが、政治の世界の「ユトウ」は「ゆたく」で野党でも与党でもない▼中間の五十音の「ya」「yu」「yo」と並ぶ「や」「ゆ」「よ」の中間で「yu」等、名残が残っている▼日本語は同音異義語が多い。北欧の如く「AAOU」等の変母音「Umlaut」アラビア語の如く母音は3個だけ「Snake Letter」文字の上か下「ー」「。」の印をつけるだけの言語がある。母音数は歴史、地理的に変動する▼衆院選挙で単独過半数はどの党もとれていない。二大党派の勢力が拮抗している場合、少数第三党によって決裁権(Casting vote)が決定する。だが、その第三党が湯桶(否)「ゆたく」と読む与党に融和的な「癒党」では困る。セコイ勝ち馬に乗る「Gerger-Hander」的議員もいるだろう。「癒党」が存在すれば、国務大臣を任命する時、裏金や裏取引が起ころう。政治は結果である。経済は成長せず給与は上がらないのに物価だけが上昇する。政治屋の茶番劇たるよ党、癒党にはうんざりしている。もう一般国民にはよ党がないのだ(鼻)

『兵庫保険医新聞』新年特集号投稿募集!

テーマ①「阪神・淡路大震災30年に思う」
当時のご経験や、今も続く・つながる震災の課題、現在の思いなど、お寄せください。

テーマ②「日本のこれから」
10月の解散総選挙で与党が過半数割れとなり、政治が大きく動こうとしています。新政権に望むこと、日本のこれからを展望してのお考え・思いをお寄せください。

テーマ③自由題
字数 600字程度 締切 12月11日(水) 協会必着
応募方法 E-mail: wuyuxi@doc-net.or.jp
FAX: 078-393-1820

お問い合わせは、☎078-393-1807 小西・呉(ゴ)まで

国際部 韓国・大邱市医師会との懇談会

医師不足・偏在問題など 活発に意見交換



歓迎の幕を掲げて記念撮影する参加者一同

国際部は11月10日に、中央区内で韓国・大邱(テグ)市医師会との懇談会を行い18人が参加した。8月の韓国視察ツアーで国際部が大邱市医師会を訪問し、両国の医師需給問題など意見交換をしたことから、今回は先方の来日に合わせて懇談会を行うこととなった。参加者は神戸港を周遊するコンチエルトに乗船し、食事を楽しみながら意見交換を行った。

懇談会ではキムデヒョン先生(大邱市医師会海外交流協力団顧問、啓明大学医学部教授)が、韓国の尹大統領による医学部の定員の約3000人から約5000人への毎年2000人増の決定に抗議し、専攻医の88%が辞職する事態になっていることを紹介。他にも小児科や産婦人科など報酬が低く訴訟リスクが高い診療科への希望が少なく、診療科の偏在の解消が課題だとした。

続いて、半田伸夫協会理事が日本の医師の地域偏在問題について、デジタル時代の重要な社会資本は「信用」だが、政府に対する「信用」が低下していると指摘。トラブルが多発・増加しており、利便性にも安全性にも疑問が出ている中、資格確認書を発行する等々の無駄な混乱を生み、当初の計画通り進めるという強引な対応はデジタル化のやりかたではないとした。問題が出たら都度修正や変更を重ねるのがデジタル化のあるべき姿で、今の健康保険証を当面残し、徐々に切り替えていくというソフトランディングが望ましいとした。

現在は、DXを超え、生成AIの進化がますます、これらを活用して、医療の分野も含めて人々の生活をより良い方向に変化させていくことを考えていくべきと訴えた。

て、10月に協会で行った意見公雄先生(全国自治体病院協議会名誉会長)の講演を紹介しながら、医療・福祉分野は地域に雇用を創出するため、地域の病院を基礎とする社会(「病院前町」)をめざす重要性について解説した。また、専門科の偏在について、高度な技術や危険手当てなど経済的支援が不可欠であり、そのためには診療報酬の引き上げが重要だとした。

参加者からは「両国の医療にはさまざまな課題があり、共通する部分も多い」「私たちが若手医師だったころとは環境も考え方も違う」などの意見が出され、より良い医療を作るため、今後も交流を深めることが確認された。(次号に半田理事の報告を掲載予定)

主張

いよいよ、政府のミソリードで12月2日をもって現在の保険証が使用できなくなる。勘違いしている人が多く、ていねいな説明と対応が求められる。

トを配布し自宅学習、ビジネス等の会議においてもオンラインが多く導入され、関連機器が必要になり、関連産業は空前の需要に沸いた。

「マイナ保険証」関連事業もこれに便乗したと思われる。その証拠に、保険証

「保険証を残せ」の運動を息長く続けよう

廃止は財界が大きな力で後押ししている。全国各所の病院・診療所・薬局・介護施設における回線と関連機器の整備で莫大な利益が見込まれ、その上に何年かごとに更新という継続性も約束された事業だ。山を削り、橋を架け、道路を走ら

「保険証を残せ」の運動はまさにこの悪政にメスを入れる運動でもあり、粘り強く取り組もう。

報告提供ネットワークを内閣府から123億円受注している。おまけに天下りポストまで用意して。

印刷、日本電気、日立製作所、富士通の献金総額は約7億円となる。献金以外に、社名が出ない20万円以下のパーティー券などでの企業の関与は想像を超えるものであろう。

金で政治・政策を捻じ曲げる、金権腐敗政治の極みともいえるこの状態は何としても阻止しなければならぬ。この20年間、大企業は内部留保を積み上げ、株主配当は右肩上がりの一方で賞金は上がらない状態が続く。労働者の賃金と福利厚生費を示す労働分配率は大企業において30年間で最低となった。この間の自民党政治の失敗である。

PFASは人工的につくられた物質で、水や油をはじき、熱に強く安定した性質をもつことから、泡消火剤やフライパン、食品の包装紙や防水スプレー、化粧品など、多

PFASは人工的につくられた物質で、水や油をはじき、熱に強く安定した性質をもつことから、泡消火剤やフライパン、食品の包装紙や防水スプレー、化粧品など、多

PFASは人工的につくられた物質で、水や油をはじき、熱に強く安定した性質をもつことから、泡消火剤やフライパン、食品の包装紙や防水スプレー、化粧品など、多

PFASは人工的につくられた物質で、水や油をはじき、熱に強く安定した性質をもつことから、泡消火剤やフライパン、食品の包装紙や防水スプレー、化粧品など、多

PFASは人工的につくられた物質で、水や油をはじき、熱に強く安定した性質をもつことから、泡消火剤やフライパン、食品の包装紙や防水スプレー、化粧品など、多

オンライン資格確認義務不存在確認等請求訴訟

東京地裁で28日にいよいよ判決が下される!

評議員 島津 俊二

医療機関へのオンライン資格確認の義務付けは違憲だとして、東京協会が呼びかけ全国の医師・歯科医師が原告となり訴えている「オンライン資格確認義務不存在確認等請求訴訟」。9月19日に第8回口頭弁論が行われ、判決が11月28日に言い渡されることが決まった。口頭弁論に参加した島津評議員の報告を掲載する。



9月19日の第8回口頭弁論後の集会で発言する島津評議員

しました。

この裁判は2023年4月21日に第一回口頭弁論が始まり、2024年11月28日指定

国が行おうとしているオンライン資格確認義務化やマイナ保険証制度は弱小医療機関にとっては廃業を余儀なくされるほどの負担が大きく、また患者にとっても、都市部に医

患者にとっても、都市部に医療機関の集中を招き、特に地方において医療難民を多く出現させる結果となるでしょう。マイナカードそのものの有効期限もあり、患者にとっては再発行の手間がかかります。

医療機関の集中を招き、特に地方において医療難民を多く出現させる結果となるでしょう。マイナカードそのものの有効期限もあり、患者にとっては再発行の手間がかかります。

医療機関の集中を招き、特に地方において医療難民を多く出現させる結果となるでしょう。マイナカードそのものの有効期限もあり、患者にとっては再発行の手間がかかります。

保団連公害視察会

PFAS汚染処理は作ったものの責任で作ったものの責任で

参加記 川西 敏雄

保団連は10月5日、6日、公害視察会を実施。PFAS(有機フッ素化合物)による環境汚染をテーマとし、1日は東京・立川相互病院で学習会を行い、2日目はPFAS汚染が問題となっている米軍・横田基地周辺を視察した。全国17協会・保団連から44人が、兵庫協会からは森岡芳雄副理事長、川西敏雄が参加した。川西の参加記を紹介する。



汚染源とされる横田基地内の消火訓練場所を、フェンス越しに視察

周辺場所を案内いただき視察しました。米軍の暴走の酷さ、他国の土地は汚し放題で良いという姿勢だということを感じました。健康会の医師で「多摩地域のPFAS汚染から市民を守る連絡会」共同代表・青木克明氏から血液検査実施など活動の報告がありました。

健康会の医師で「多摩地域のPFAS汚染から市民を守る連絡会」共同代表・青木克明氏から血液検査実施など活動の報告がありました。

保険診療法制研究会

県弁護士会で保険証存続求めシンポジウム

報告



「医師・歯科医師のための知っておきたい法律知識」発行に向けて最終確認

52回目の法制研では、まず、オンライン資格確認義務不存在確認等請求訴訟の進捗状況について報告がありました。また、9月19日には兵庫県保険医協会が厚労省と交渉し、自治体等の保険者が自らの判断で全被保険者に資格確認書を交付することは法令違反にあたらないとの回答を得たことなどの報告もありました。

また、9月19日には兵庫県保険医協会が厚労省と交渉し、自治体等の保険者が自らの判断で全被保険者に資格確認書を交付することは法令違反にあたらないとの回答を得たことなどの報告もありました。

現行の健康保険証の廃止が迫る中、本年11月28日に判決が言い渡されることとなり、どのような判決が言い渡されるか注目ください。また、9月19日には兵庫県保険医協会が厚労省と交渉し、自治体等の保険者が自らの判断で全被保険者に資格確認書を交付することは法令違反にあたらないとの回答を得たことなどの報告もありました。

また、9月19日には兵庫県保険医協会が厚労省と交渉し、自治体等の保険者が自らの判断で全被保険者に資格確認書を交付することは法令違反にあたらないとの回答を得たことなどの報告もありました。

感想文

新型コロナウイルス感染症の後遺症と予防策を学ぶ

北摂・丹波支部 第36回支部総会・記念講演

北摂・丹波支部は、10月5日に三田市・キッピエモール6階多目的ホールで第36回支部総会・記念講演「Long COVID」新型コロナウイルス感染症罹患後の症状と定義、患者さんへのアプローチ・フォローアップについて」を開催。県立丹波医療センター地域医療教育センター長の見坂恒明先生を講師に、57人が参加した。武中睦美先生の感想を紹介する。

丹波医療センターの見坂先生の講演を聞かせていただきました。新型コロナウイルス感染症の後遺症の症状とアプローチを詳しく説明する見坂先生



「北摂・丹波支部 第36回支部総会・記念講演」新型コロナウイルス感染症罹患後の症状と定義、患者さんへのアプローチ・フォローアップについて」見坂

つに持続感染及びそれに関連すると言われている後遺症があります。後遺症は90日以上持続した症状ですが、オミクロン株では減っているがデルタ株では10%の方に見られています。罹患後の症状には呼吸器症状だけでなく筋肉、関節痛、倦怠感などの全身症状、重度疾患様症状、抑うつなどの精神神経症状などがあり、それに対するアプローチ(検査項目等)の説明がありました。

先生の自験例に中枢性の脳・神経の障害によると思われる副腎不全の多いことに驚かされました。呼吸器障害でささそう簡単に治ることも思われな、ましてや90日も経てば当然そう簡単に治るはずがないと思われま

感想文 疲れと清々しさとともに感謝の気持ち

神戸支部 研究会「コミュニケーションUP」

神戸支部は、11月9日に協会会議室で研究会「コミュニケーションUP」を開催。アナウンサーの田村正浩氏を講師に、6人が参加した。山陰圭一先生

いきなりの腹式呼吸発声法で田村講師のトーク・コミュニケーションが始まりました。丹田に手を当てておなかを使った呼吸を吐き出すことで一気に声帯を震わせて発声し



腹式呼吸のコツを参加者に教える田村アナウンサー(奥中央)

もに感謝の気持ちがわいてきました。基礎の単音発生「あっ」「はっ」から始まり、歯切れよくはっきり発音するために「イウ」「エウ」「パタカ」など大声で叫びました。また喉枯れにはハミング発声「ソーア」(閉口から開口)が効くことや肩、首に入った力を解きほぐすことなど勉強になることが多くありました。

【西宮市 山陰 圭一】

協会環境・公害対策部は10月30日、10月29日の女川原発2号機の再稼働に強く抗議し、下記の声明を発表し、関係機関に送付した。

抗議声明

2024年10月30日

東北電力株式会社 取締役会長 増子 次郎 殿

女川原発2号機の再稼働に強く抗議する

兵庫県保険医協会 環境・公害対策部長 森岡 芳雄

東北電力は、昨日女川原発2号機を再稼働したと発表した。東日本大震災で被災した原発であり、福島第一原発事故以後、初の沸騰水型の13年7カ月ぶりの再稼働となる。

われわれはいのちと健康を守る医療者として、この再稼働に強く抗議する。

事故以後、新たな規制基準のもとで原子力規制委員会による審査が行われ、「適合」との判断をなされたが、被災を前提にした審査が充分に行われたとは言い難い。東北電力は福島原発事故と比較して、安全工事として、原子炉建屋に蒸気で動く注水系ポンプを設け、爆発を防ぐため充滿した水素を酸素と結合させ水にする装置や建屋の気体放出を抑えるフィルター付きベント装置を配備したと主張したが、そもそも東日本大震災において、女川原発が大惨事に至らなかったのは、たまたまであったと言えなくもない。事故の全容は、今もって解明されていない。露呈した損傷箇所、問題点への対策だけで、十分な対策と言えるのか、地震の時、実際にそうした安全確保の機能が働くかどうかとも疑問視されている。

また、原発事故と地震や津波との複合災害時に計画通りの避難ができるかが懸念される。原発に近い集落からの避難路は山道で、道路の損傷、損壊発生も予想され、カーブやアップダウンが連続する中、事故後の通行困難、大規模渋滞が予想され、避難計画の実効性は担保されているとは言い難い。

東北電力および政府に女川原発2号機の再稼働を断念し、今すぐ廃炉にすること、地震などの災害が多発する日本における原発推進政策を放棄し、すべての原発の稼働を早急に停止し、廃炉にするよう強く求める。

協会は10月26日、第1199回理事会にて、美浜原発3号機の海水漏れを受け同原発の廃炉を求める下記の声明を採択し、関係機関に送付した。

抗議声明

2024年10月26日

関西電力株式会社 取締役会長 榊原 定征 殿

老朽化した美浜原発3号機の海水漏れを受け同原発の廃炉を求める

兵庫県保険医協会 第1199回理事会

関西電力は10月10日、美浜原発3号機(福井県美浜町)の冷却用の装置で海水漏れがあったため、原子炉を停止すると発表した。同社によると、10月5日に原子炉建屋内の機器などを冷やす冷却水の熱を取るための海水系統の配管の表面に2カ所の塩の付着が見つかり、10日午前超音波検査をしたところ、直径6ミリと3ミリの穴が見つかり、周辺の管の厚みが、安全上の技術基準の3.8ミリを下回っていたという。美浜原発3号機は、運転開始から47年を経過した老朽原発であり、今回の穿孔部位周辺では内部の配管保護のゴムが剥離し、本来12ミリの厚みがあったものが最も薄い部分では2.7ミリまで減肉していたという。

経年劣化はいかなる設備・装置においても起こりうる現象で、原発という危険性の高い設備においては、事前に定期的に各部ごとに最新、最善の検査技術を駆使して点検し、劣化の発見に努めて然るべきものである。にも関わらず、今回、可能な超音波検査を実施するなどの定期点検は行われておらず、外観チェックで異常が見つかるまで放置されており、管理体制があまりにも杜撰なことは明白である。

命と健康を守る医師・歯科医師の団体として、われわれは処分困難な核燃料廃棄物その他の放射能汚染物質を産生し続け、ひとたび事故を起こせば、甚大な被害を引き起こす原発すべてを早急に廃炉にするよう求めると同時に、原子炉格納容器内部については、詳細な点検を行う術もなく、特に老朽原発の再稼働には安全性に重大な懸念があるとして繰り返し反対を表明してきた。老朽原発は危険であり、関西電力に原発を稼働させる管理・責任能力がないことはあきらかであり、原発の老朽化による事故の危険性は確実に増している。関西電力に今すぐ、美浜原発3号機を廃炉するよう強く求める。

明石支部 第11回クリスマスパーティー

日時 11月30日(土) 18時~20時
会場 Bistro & Bar Joyeux (ジョワイユ) (大明石町1-13-36白菊センタービル1F、JR山陽明石駅南口より徒歩約5分)
参加費 7000円(飲み放題付、小学生まで4000円)
ゲスト 明石市出身マジシャン・松田有生さん

ご家族・職員の方も大歓迎です。ビンゴゲーム有。お申込お急ぎください。

お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1809まで

神戸支部 クリスマスパーティ

日時 12月7日(土) 18時~20時
会場 ベルクラシック神戸(中央区浜辺通3丁目3-1、三ノ宮駅から徒歩10分)
参加費 8000円(飲み放題付パーティメニュー、ビュッフェ、小学生4000円、就学前児無料)
司会 田村正浩アナウンサー
ゲスト 神戸出身芸人・アルミカン(右写真)、プロマジシャンなど



ゲスト アルミカン

全支部の皆様にご参加いただけます。ご家族・ご職員の方も大歓迎です。ビンゴゲームで豪華景品が当たります!

お申し込みは11月28日まで。
お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1807まで



医科保険請求 Q and A

〈2025年1月以降の外来感染対策向上加算の算定〉

Q1 外来感染対策向上加算の施設基準について、2024年3月31日以前に届出を行っており、診療報酬改定後も引き続き算定しているが、2025年1月1日以降も引き続き算定できるか。

A1 2024年12月31日で外来感染対策向上加算の施設基準に設けられた経過措置が終了します。2025年1月1日以降も引き続き算定する場合は、経過措置終了までに再届出を行い、受理されていることが必要となります。

〈初診往診時の医療DX推進体制整備加算の算定〉

Q2 医療DX推進体制整備加算について、往診時に初診料を算定する場合にも算定できるか。

A2 算定できます。

歯科診療報酬改善求め 厚労省に要請

近畿ブロック

保団連近畿ブロックは10月24日、歯科診療報酬の改善を求め厚労省に要請した。

兵庫協会からは川村雅之副理事長、水野良司理事が参加、厚労省は保険局医療課の伊東孝課長補佐、岡部真利主任が対応した。

今次診療報酬改定は4月から6月実施に延期されたもの



不合理なルールの根拠を厚労省(右側)にたずねた水野理事(左3人目)。左端は川村副理事長

の、改定内容が細かく煩雑で現場が混乱した。いまだに不明な改定内容もあり、不合理で是正すべき項目も多いため、24項目に絞って要請した。その中でも、9点について要請内容を報告する。

①長引く物価高騰、医療材料の高騰や賃金上昇などで厳しい経営状況にあり、初・再診料の引き上げを軸とした診療報酬の大幅引き上げを求めるとともに、本来医療に資す

る診療報酬の中に医療DXなど馴染まないものが入り込んでいることを指摘した。医療DXやマイナ保険証の強力な推進について、高齢で地域医療を担っている先生の閉院が早まるきっかけにもなっていることも強調した。

厚労省は、「今後の中医協での議論に向けて、医療経済実態調査はあるが、厳しい経営状況についての現場の皆さんの調査などデータでお示しいただけるものがあれば今後実態把握の参考にさせていただきます」と述べた。

②情報通信機器を用いた歯科診療の施設基準研修の日時会場が極めて限定的で受講不可能であるため、オンラインでの実施や、歯初診の施設基準研修のような外部研修も可能とすることを要請した。厚労省は、「担当課と連携して検討したい」とした。

保団連歯科全国交流集会

歯科医療改善や 保険証存続など討議

理事 多田 和彦

保団連は10月27日に東京都内で第18回保団連歯科全国交流集会を開催、会場とWEBをあわせて39協会120人以上が参加した。歯科医療改善を目的として隔年で開催しているもので、今回は診療報酬改定や歯科医療提供体制などの課題や運動対策について活発に意見が交わされた。兵庫協会からは、川村雅之副理事長、鈴木明彦・水野良司・多田和彦各理事が参加し、水野理事が今次診療報酬改定と近畿ブロック厚労省要請について発言した。多田理事の感想を紹介する。

保団連歯科全国交流集会に参加しました。会場は満席で熱気に包まれていました。兵庫協会からは水野先生が



診療報酬改定の改善を求め、水野理事(右手前)が発言

発言されました。先生は、10月24日保団連近畿ブロックの歯科診療報酬改善厚労省要請に参加され、「P重防」や「SPT」の算定間隔について、「SPT」の算定間隔について、「口管強」と区別する根拠はなく、歯科医師の裁量で毎月算定できるようにしてほしい」と要請をされました。

③「P重防」や「SPT」開始後の機械的歯面清掃処置(歯清)の包括について、歯周病以外の歯など別の歯科疾患がある場合は目的も実施内容も違うため別途算定を認めるようにすることについて、厚労省は、「学術団体、関係者の意見を含めて検討したい」と述べた。

④「P重防」や「SPT」の算定間隔について、口管強の算定間隔について、口管強未届出医療機関と口管強届出医療機関と区別する根拠はなく、歯科医師の裁量で患者の状況に応じて毎月算定できるようにすべきとの要請について、厚労省は、「期間短縮が必要な状態については有効性に関する科学的根拠の検討が必要」としたが、近畿ブロックから「では口管強届出医療機関が毎月算定可能な有効性に関する科学的根拠はあるのか逆に示してほしい」と発言

したが、厚労省から明確な根拠は示されなかった。⑤歯科技工士連携加算について、印象採得、咬合採得、仮床試適にそれぞれ1回ずつ算定を認めること。ブリッジについて試適の加算を認めること。

⑥CAD/CAM冠およびCAD/CAMインレーは、今次改定で(Ⅲ)の材料の適用ルールが煩雑で現場が混乱したことを。補管の対象から外れなかったことも含めて、歯科医師の裁量で装着できるようにすること。後継のない永久歯代行歯にも適用拡大することを求めた。厚労省は、「引き続きご意見をお聞かせいただき改善へ取り組みたい」と述べた。

⑦「口管機能低下症(口機能)」「小児口管機能管理料(小機能)」の診断、訓練含め評価が低すぎることを。⑧同じ管理でも、「口管

強」の加算点数が本体点数を上回るなど点数設定の不合理は正をほしめ、そもそも同じ医療行為であっても請求点数に差がある仕組みは抜本的に見直すことを求めた。

⑨歯科訪問診療料について、高齢者の体力等を考慮しても「20分」という根拠のない時間要件の撤廃、人数区分の減算見直し、義歯製作途中での入院など歯科のある病院への訪問診療、ショートステイも長期間の場合が増えているため訪問診療を認めることについて要望した。

その他、兵庫協会から、歯科衛生士の専門性評価の拡大を求め、現場での歯科衛生士不足が深刻で、時給をかなり引き上げても雇用が難しい状況において、歯科衛生士実地指導料の月1回80点、新設の口管機能指導加算もその指導訓練の評価が10点と低すぎ、引き上げるよう要請。訪問歯科

しいという要請をされました。また、医療DX加算はマイナ保険証推進のご褒美のような点数で、診療報酬からではなく別途手当のような形で支給すべきと発言されました。ベースアップ評価料は複雑で取り組みにくく、基本診療料や歯科技術料の抜本的なプラス改定をすれば、自ずとベースアップは行われるはずだと述べられ、まったくその通りだと感じました。

「歯科の総枠拡大の前にまず、総枠維持も大事だ。ベースアップ評価料も活用して歯科の総枠を維持すべき」との意見も出されています。ベースアップ評価料については、届出自体は若干簡素化

されたのですが、報告義務が変わらずあり、届け出ようという気持ちになかなか起らないところ。 「今後もベースアップ評価料が続くと思われる。急にハシゴは外さないであろう」とのご意見もありました。総枠維持、拡大していくためにベースアップ評価料を活用すべきかどうかは、兵庫県歯科で17%台の届出状況を見ても何とも言えませんが、診療したことは萎縮することなく、しっかりと算定していく必要があるとあらためて感じました。

集団的個別指導などを受けられた先生方も、萎縮する必要はなく今後も算定すべきものはしっかりと実態通り算定していきましょう。

ISR Intelligent Social Reliance
アウトソーシング サポート

社会保険労務士 **ISR 梨本**
働き方改革策定
労働条件・ハラスメント

合同会社(LLC法人) **ISR パーソネル**
副業推進支援
人材紹介・リーダー育成

株式会社 **アイ・エス・アール**
データセンター ISR
レセプト管理・情報デザイン

労働保険事務組合 経営者会議
概算確定・労災特別加入

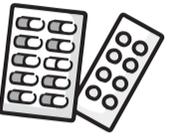
ISR e-Sports
シニア躍動・企業健康経営

ISR サテライトオフィス
リモートワーク・ウェブ会議

信頼・向上そして社会貢献
ISRグループ 検索
〒650-0026 神戸市中央区古湊通1丁目2番 (ISRビル)
(業務案内) TEL 0120-366-761

薬局の待合室

灘区 岡本 好司



会
員
投
稿

朝の出勤、板野先生が送ってあげるから、甲陽園の櫻葉局で待ちなさいという暖かい

思し召しで、お言葉に甘えて櫻葉局で待たせていただいていたのであるが、直ぐに乗せていただけたわけではない。座って待たせていただいていた間、棚の商品を眺めている。

最上段にはカミパンツの棚があり謳い文句に「スルッと履ける」とあった。これ以外のカミパンツは履くのが大変なのかなと思つて眺めていた。

その横に「ずれない、漏れない」を売り物にしている商品があった。何が漏れるのか、一人で考えていた。

そのほか、日本語の商品がたくさんあり、内容が推定できるのが愉快である。「トメ

ルミン」は眠り止めだな、受験生に売ると良いな、「セキ

トル」は鎮咳剤だな、「おしりあ」は肛門の荒れに効く薬だな。その他用途が分かる薬が多くあった。外国語が大流行の今日、日本語が闊歩しているのが愉快である。

陳列の中で気になる商品が一つ、あった。それは日本語ではなく「LUNA」という名前の鎮痛剤であった。LUNAはフレンチ語で月という意味だそうで、女性の生理痛を止める薬であるから、洒落でLUNAをもってきたと思うが、LUNATICになる

と、変人、馬鹿の意味に使うようである。これで良いのかなと考えてしまう。考えているだけで口には出せない。イラストのみである。

この薬局の薬剤師さん事務員さんも皆さん素敵で、素晴らしい方の集まりである。このような薬剤師集団を作り上げた医師の先生も常に全力をあげて仕事に集中しておられるのが目に浮かぶ。

会
員
投
稿

選定療養費について

医師は先発品の必要性をどうやって判断

西宮市 伊賀 幹二

2024年10月から患者が先発品を希望すれば同効の最も高い後発品との差額の4分の1を患者が負担するというルールになった。その前提として、国はジェネリックで十分効果があるとの判断をしているのである。

担当医師が医学的見地から先発品が必要と認めれば、差額を払わなくてもよいとされている。患者希望ゆえに先発品というのは不可なので、「先生が医学的に必要と書いてください」という患者は多い。「〇〇先生は希望すれば書いてくれた」や、「薬局で伊賀先生にはたぶん書いてもらえない」などに対応するのはうんざりである。

私は先発品を希望する彼らに「薬はすべてジェネリックにすべきというのが国の方針です。医学的にどのジェネリックがだめという根拠はありませんので、希望されるなら国のルールに従い差額を払って先発品にするしか方法はあ

りません」と説明している。選択は医師の判断ということにして、国は患者とのトラブルを医師や薬剤師に押し付けているだけである。ある自治体が救急車を有料としたが、救急受診が必要であったかどうかを対応した医師に判断させ、必要であったと判断すれば無料にすることを同じ構図である。

ルールとしてジェネリックを使用するならば、国がジェネリックの質を担保しなければならぬ。昔言われているように、一部のてんかん薬のように、効果が異なるなら専門の医師は判定できる。

それより、そのようなジェネリックを販売できないように国が定め、その質を担保すべきである。多くのジェネリック製品のなかでどれがよい、どれが悪いかの判断を任されても一般の医師には判断不能である。

薬の供給に関しても一部のものはいまだ不安定である。行政が薬価の設定などをコントロールするのであれば、管理責任として、在庫の問題、供給が不足している理由についてはきちんと診療所や薬局に説明するべきである。古くからの薬で薬価が安く生産しても製薬会社の利益が出ないのなら、その薬価をあげるべきだろう。

効果異なるなら専門の医師は判定できる。

それより、そのようなジェネリックを販売できないように国が定め、その質を担保すべきである。多くのジェネリック製品のなかでどれがよい、どれが悪いかの判断を任されても一般の医師には判断不能である。

薬の供給に関しても一部のものはいまだ不安定である。行政が薬価の設定などをコントロールするのであれば、管理責任として、在庫の問題、供給が不足している理由についてはきちんと診療所や薬局に説明するべきである。古くからの薬で薬価が安く生産しても製薬会社の利益が出ないのなら、その薬価をあげるべきだろう。

写真展「花、山、そして平和」開催のお知らせ

丹波市 眞田 幸昭



花、山、そして平和
眞田幸昭
写真展

永年にわたって撮りためた写真(ネガ、デジタル共)を精選し、写真展「花、山、そして平和」を開催します。20年以上、診療所を開いていた長野県茅野市、中・高・大・院と通った懐かしい神戸、そして終の棲家の丹波市の3カ所です。お忙しいと思いますが、ぜひ覗いていただければ幸いです。

- #1 2024/10/16~21 長野県茅野市 茅野市民館イベントスペース (開催済)
 - #2 2024/12/12~17 神戸市元町商店街まちづくり会館地下ギャラリー
 - #3 2025/3/13~21 丹波市丹波の森ギャラリー
- いずれもam10~pm5時(初日、最終日は展示、撤収のため変則) 入場無料

会
員
投
稿

中国古典に学ぶその3

論言汗の如し(漢書 劉向伝) 敗軍の将、兵を語らず(史記 淮陰侯伝) 百年河清を俟つ(春秋左伝)

明石市 永本 浩

日本にも「天子には戯れの一語なし」平家物語。天下人は一度口に出した言は汗が再び体内に戻らないように取り消すことができない。

石破内閣総理大臣は総理就任後、前もって約束していた予算委員会での討論も行う前に、党利党略だけで衆議院を解散した。



私の映画案内 白岩一心



本心

自民党単独過半数どころか、自・公を加えても半数に及ばない。それにもかかわらず舌の根の乾かぬ内に再び日本版NATOに言及したり、未だ米国の大統領が決まらないうちから米国の大統領と会談したい(立民の野田とまともに討論してないのに)と言いつつ、それを「総選挙という自浄作用で政権交代するのが成熟した民主主義国家である」と嘯く。

しかし、Actionの言うが如く絶対権力は絶対腐敗するのだ!これは社会科学の公理である。一般国民にとって百年河清を俟つどころか、河の水が清らかなるまで百年待つ。否、永久に清くなら

2014年「舟を編む」で、日本アカデミー賞各賞を総なめにし、一躍有名になった石井裕也監督が、若手人気俳優の池松壮亮さんを主演に迎えて、平野啓一郎さんの同名小説『本心』を原作に「デジタル化社会の功罪」を、ものの見事に鋭く描写した映画「本心」を紹介しています。ヒューマンミステリー仕立てになっています。

工場で働く石川朔也(池松壮亮さん)は、同居する母・秋子(田中裕子さん)から「大切な話をしたい」



本心

ある日、仮想空間上人間をつくる技術「VF(バーチャル・フィギュア)」の存在を知った朔也は、母の自由死の「本心」を知るため、開発者の野崎(妻夫木聡さん)に、母を作った存在を知った朔也は、母の「本心」とは?との疑念に駆られます。名女優・田中裕子さんが、朔也の母役で生身とVFの二役を熟演しています。

©2024映画本心製作委員会

ある日、仮想空間上人

【赤穂郡・白岩歯科医院】

。。。



診内研 より 548

臨床現場での歩行障害へのアプローチ ～フィールドワーカーのためのやさしい臨床神経学～

日本赤十字社足利赤十字病院 院長補佐 後藤 淳先生講演

外来患者さんの多くは、歩いて来院されます。中には車いすや歩行器などを利用される方もあります。“歩いて来院されること”から、患者さんについて多くのことがわかります。運動時に痛みを伴う場合には、整形外科的な視点も必要になります。診察室の中だけでは見落とししてしまうことや“誤診”につながることもあります。

急性発症の歩行障害として治療介入可能なものが除外できれば、亜急性、慢性の経過で出現する歩行障害について、じっくりと問診、診察を行い、補助検査も援用しながら診断、治療、リハビリにつなげてゆく流れとなります。急性発症の起立・歩行障害で、重要なものとして小脳下面の血管障害があります。椎骨動脈解離に伴う延髄外側症候群など、起立、歩行の診察ではじめて気づかれるものもあり注意が必要です。明らかな運動麻痺がないのに起立、歩行ができない脳梗塞は臨床的に重要です。

立ち上がり(起立)、体位を変えて、歩く様子にこだわってみると、患者さんを診察のよい流れにつなげてあげるうえで、重要なヒントが見つかります。起立・歩行は、神経系を含む複雑な機構に支えられており、その診察の基本は問診と診察(観察)です。狭い診察室の中だけではわからないことも、患者さんやキーパーソンから生活史を聴きだすことで見えてくるものがあります。

問診では、夜間の状況(視覚情報の影響、レム関連行動異常症; RBD)、洗面現象や転倒歴にも注意します。診察は、患者さんと出会ったときからはじまっています。転倒はどこでも起こるので、診察では、まず患者さんの安全確保が第一です。日常の生活史に迫る問診と診察室内に留まらない観察が診察のブレークスルーを拓くこともあります。新型コロナウイルス感染症の時期を経て、廃用症候群やフレイルに関連した課題も日常的であり、生活リハビリの視点も極めて重要になっています。

階段歩行に関する問診も有用です。階段の昇降に異常がなければ下

肢の運動障害はほとんどないと思われ、歩行障害を訴えていても階段昇降可能なら、下肢の運動障害はあっても軽いと考えられます。また階段も昇りが困難なら下肢の弛緩性麻痺、下肢近位筋力低下(筋疾患など)を疑い、降りるほうが困難なら軽度の錐体路障害、小脳性運動失調(下肢・体幹の失調)、感覚性運動失調(脊髄癆型)など鑑別します。下肢に運動麻痺がないのに階段下降困難なときは、小脳性運動失調を疑います。

診察では、歩行の姿勢、歩容にも注意して、安全確保のうえでロンベルグ試験、継ぎ足歩行、深部覚、関節位置覚も必ず確認することが重要です。パーキンソン病、血管性パーキンソニズム、感覚性失調など、頻度の高い(“在宅のコモンディーズ”)基本的な歩行障害についての深い理解も日常診療で有用です。

問診、診察から局在診断、病態(鑑別)診断をすすめ、必要に応じて画像診断など補助検査を援用し、経過観察などしながら目の前の患者さんにベストの診療を目指します。家族やキーパーソンのケア(社会資源導入など)、介護保険サービス導入による生活リハビリ励行、転倒や廃用症候群予防への対策にも果敢に取り組めます。ときにケアマネジャーや往診医とも連携して、自宅内の生活者の視点で、介入可能な要素を見直してゆくことも有用です。

日常臨床でよく出会う歩行異常に“小刻み歩行”があります。小刻み歩行イコール“パーキンソン病”の歩行と即断せずに、一拍おいて問診、診察、とくに歩容の観察が有用です。歩幅とともに『歩隔』や、歩行時の姿勢(前傾か側屈かどうか)、腕のふりや感覚トリックの有用性(kinesie paradoxale)にも注意すると役立ちます。“小刻み歩行”と表現されるものの中に多発性脳梗塞による“脳血管性パーキンソニズム”、別名“下半身パーキンソニズム(lower half parkinsonism)”も、一定の頻度で認めます。

コモンディーズである“パーキンソン病”についての理解が役立ちます。パーキンソン病の歩行は、

図1

歩行の異常 (ベッドサイドの神経の診かた 田崎、斎藤)

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 痙性片麻痺性歩行 | Spastic Hemiplegic Gait |
| 2. 痙性対麻痺性歩行 | Spastic Paraplegic Gait |
| 3. 運動失調性歩行 | Ataxic Gait |
| →感覚性(末梢神経・脊髄)、小脳性、前庭性 | |
| 4. 鶏歩 | Steppage Gait |
| 5. 動揺歩行 | Waddling Gait |
| 6. パーキンソン歩行 | Parkinsonian Gait |
| 7. 小刻み歩行 | Marche a Petit Pas |
| 8. 跛行 | Limping |
| 9. 奇怪歩行 | Grotesque Gait |
| 10. 間欠性跛行 | Intermittent Claudication |
| →下肢血管性、脊髄性、馬尾性 | |

図2

歩行の異常 主な責任病巣

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 痙性片麻痺性歩行 | 一側CNS(脊髄、脳幹、大脳) |
| 2. 痙性対麻痺性歩行 | 両側皮質脊髄路(胸髄、頸髄、大脳) |
| 3. 運動失調性歩行 | 脊髄後索、末梢神経 |
| →感覚性(末梢神経・脊髄)、小脳性、前庭性 | |
| 4. 鶏歩 | 下肢遠位筋力低下 |
| 5. 動揺歩行 | 下肢近位筋力低下 |
| 6. パーキンソン歩行 | 大脳基底核 |
| 7. 小刻み歩行 | 両側大脳半球など |
| 8. 跛行 | 整形外科疾患など |
| 9. 奇怪歩行 | 精神的ないし行動異常 |
| 10. 間欠性跛行 | 下肢血管性、脊髄性、馬尾性 |

hypokinetic gaitが基本となります。パーキンソン病とその鑑別については、MDS clinical diagnostic criteria for Parkinson's disease. (2015)が参考になります。パーキンソン病の診断を支持する所見と、支持しない所見(red flag)が明記されていて、診察(観察)のポイントが分かりやすく示されており、一見の価値があるかと存じます。

そのほか、注意したい歩行障害に、動作特異的ジストニアと呼ばれる一群があります。階段を下降するときのみ出現する異常な運動や肢位で困っている患者さんは、ときに見かけますが、どこの診療科に受診すればよいか迷い、動作特異的ジストニアを理解している臨床家でないとわかってもらえないことがあります。感覚トリックの援用で改善するもの、ジストニアという病態であることをご説明することでご安心いただけることを経験します。

ほかにも、様々な歩行障害のタイ

プがありますが、疑って問診と観察だけで、複雑な検査なしでも診断につながるものも少なくないため、実地医家の先生方にご興味を持っていただければありがたく存じます。

(参考 図1、2:歩行障害のサブタイプと主な責任病巣)

本来は、診療現場での観察が重要ですが、近年はWe Move(MDS)ホームページや教科書などで公開されている動画ファイルも参考になります。今回は、日常診療で頻度の高い歩行障害について、検討させていただき、先生方の日常診療にお役に立てれば幸いです。

参考文献

- 1) Postuma RB et.al.: MDS Clinical Diagnostic Criteria for Parkinson's Disease.
- 2) Mov Disord. 2015;30(12):1591-601. (7月13日、第611回診療内容向上研究会より)

介護保険Sasa*L誕生!

ササエル
〈次回受付は2025年4月1日開始〉

老後リスクに! 中長期の資産形成に

保険医年金

加入者数5万1千人、積立金総額1兆3千億円

秋は一時払の増額受付のみとなります

もっと便利な貯蓄型保険

積立年金DefL

※サイバー保険もお問い合わせください!

ドクターに最適を提供します

協会の共済制度

死にリスクに! 格安の保険料と高い配当還元

グループ保険 + 新グループ保険

休業リスクに! 非営利だからコスバが秀逸

休業保障制度 + 所得補償保険

休業損害補償

天災やコロナ補による休業損害に

医事紛争リスクに!

医師賠償責任保険

もっとあるリスクに!

自動車保険、火災保険

医療保険、ガン保険

あっちこっちで保険に入ったから整理がつかない

協会の共済はご加入内容をまとめて管理。ワンストップサービスを提供します。

選んでよかった!

協会の共済制度でドクターもスタッフも安心 お問合わせは共済部まで ☎ 078-393-1805



兵庫県保険医協会

これからの研究会・行事のご案内

12月の診内研

第616回診療内容向上研究会

無料

非耳鼻咽喉科医向けの耳鼻咽喉科領域の話 ～鼻出血・副鼻腔炎を中心に～

日時 12月7日(土) 午後5時～
会場 兵庫県保険医協会 5階会議室(オンライン併用)
講師 JCHO大阪病院耳鼻咽喉科 前田 陽平先生
※講師来場でのご講演です。

来場定員 50人
※現地参加は必ず事前にお申し込みください。
お申し込み後のキャンセルも、ご連絡をお願いいたします。

鼻出血や副鼻腔炎は耳鼻咽喉科医のみならず多くの医療従事者が遭遇する疾患です。鼻出血の原因にはどのようなものがあるのか、初期対応としてはどのようなものか、止血できないようなものは耳鼻咽喉科ではどのような対応をしているのか。また、副鼻腔炎についても、実際には通常の慢性副鼻腔炎から二次性のものまで幅広くありますが、どのような種類があり、どのように対応するのか。今回は、鼻出血・副鼻腔炎を中心に、耳鼻咽喉科医以外の医療従事者の方々に知っていただきたい、あるいは役に立つかもしれない、そんな内容をお話しさせていただきたいと考えています。

【前田 記】

Zoom視聴のお申し込み

申し込み 右のURLまたは二次元コードからお申し込みください。 <https://x.gd/sEwkZ>



来場参加

FAX 078-393-1820

歯科部会

歯科特別研究会

日時 12月15日(日) 午後2時～5時
会場 兵庫県保険医協会 5階会議室

実習付き

臨床力を高める歯科衛生士業務の実践

講師 (株)T style代表取締役 歯科衛生士 十時 裕子氏

定員 歯科衛生士限定 20人
(会場参加のみ、実習準備物が当日持参可能な方に限る)

参加費 5,000円

お申し込み・お問い合わせは ☎ 078-393-1809 FAX 078-393-1802

歯科開業実現セミナー

理想の歯科医療を実現する新規開業

日時 1月26日(日) 午前10時～12時

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室

参加費 会員2,000円 会員外6,000円 ※当日入会の場合は2,000円

第1部(10時～) 私の開業体験 開業医の診療と経営の実際
しらやま歯科クリニック(西宮市) 院長 白山 智也先生

第2部(11時～) 開業コンセプトの策定と開業地選定のポイント
エニータイムヘルスケアコンサルティング(株)
マネージャー 細羽 雄太氏

お問い合わせは

兵庫県保険医協会歯科部 ☎078-393-1809 吉永まで

お申し込み FAX 078-393-1802

今後の研究会・行事予定

診療内容向上研究会

【第617回】

テーマ 発達障害はCommon Disease?

日時 2025年1月25日(土) 午後5時～

会場 兵庫県保険医協会5階会議室(オンライン併用)

講師 安房地域医療センター小児科部長 市河 茂樹先生

来場定員 50人

その他研究会・セミナー

薬学部研究会

テーマ 新時代の呼吸器感染症治療～新しいガイドラインも踏まえて～

日時 2025年1月11日(土) 午後4時～

会場 兵庫県保険医協会5階会議室(オンライン併用)

講師 関西医科大学内科学第一講座診療教授
宮下 修行先生

参加費 1,000円(会員無料)

共済の今日と未来を考える兵庫懇話会 第14回総会講演会

テーマ 狙われるJA共済と日本の農業～JA共済の基本課題とこれからの展開方向～

日時 2025年2月8日(土) 午後5時～

会場 兵庫県保険医協会5階会議室

講師 岡山大学名誉教授 小松 泰信先生

県下各地の行事

「淡路支部」バスツアー

行先 徳島 藍染体験～大塚国際美術館

日時 12月1日(日) 午前7時40分ハイウェイオアシス駐車場集合～島内各地乗車

旅程 9:30藍の館(藍染体験と旧奥村家屋敷跡見学)＝11:40アオアヲリゾート(昼食)＝13:10大塚国際美術館＝帰路

定員 25人

参加費 16,000円、小学生以下15,000円(昼食代込)

「神戸支部」クリスマスパーティ

日時 12月7日(土) 午後6時～

会場 ベルクラシック神戸

ゲスト 神戸出身 松竹芸能所属コンビ「アルミカン」

参加費 大人 8,000円、小学生 4,000円、就学前児童 無料(パーティメニュービュッフェ、飲み放題付)

「淡路支部」在宅ケア研究会

制度説明&懇談会

テーマ「重度訪問介護」

日時 12月7日(土) 午後3時～

会場 洲本市文化体育館2階会議室

制度説明 株式会社土屋/ホームケア土屋 松本 満氏

懇談会 (出席予定者)

淡路市社会福祉協議会 山中 健吾氏、
聖隷訪問看護ステーション 鷺尾 雅永氏、
順心会訪問看護ステーション 平山 恵子氏、
ホームケア土屋 八木 優季氏

「淡路支部」ミニ勉強会

日時 12月10日(火) 午後8時～

会場 (リモートミーティング)

話題提供 粟田 哲司先生

「西宮・芦屋支部」阪神・淡路大震災30年の集い 阪神・淡路大震災～東日本大震災・原発事故～熊本地震～能登半島地震

テーマ 阪神淡路大震災から30年、そしてこれからの30年を見据えて

日時 2025年1月18日(土) 正午開場

会場 西宮市・なるお文化ホール

「神戸支部」研究会

テーマ なぜ人は依存症になるのか～日常診療で見かける依存症～(仮)

日時 2025年2月15日(土) 午後5時30分～

会場 兵庫県保険医協会会議室(オンライン併用)

講師 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部部長 松本 俊彦先生

Zoom視聴可能な行事の申し込み方法(協会会員のみ)

申し込み方法が明記されていない場合、メールの件名を研究会名にし、本文に①医療機関名②お名前③電話番号～を記載の上、研究会前日までにhyogo-hok@doc-net.or.jpへ送信してください。案内メールを返信します。

来場参加の方 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を絞って開催しますので事前にお申し込みください。会場に手指消毒液をご用意、会場換気を致します。マスクはご持参ください。

※未入会の方は入会の上ご参加ください。



兵庫県保険医協会 これからの研究会・行事のご案内

薬科部 研究会

認知症診療この1年

日時 12月21日(土) 午後4時～6時
会場 兵庫県保険医協会 5階会議室(オンライン併用)
講師 神戸大学医学部保健学科・大学院保健学研究科 古和 久朋先生
参加費 1,000円

2023年12月20日に認知症新薬レカネマブの使用が可能となりちょうど1年が経過した。この薬剤の発売により軽度認知障害(MCI)が治療対象として加わり、また脳内アミロイドの確認やARIAへの対応体制の構築が必須となるなど、認知症診療は大きく変わることとなった。さらに、2番目の抗アミロイドβ抗体薬ドナネマブが承認され、ブレクスピラゾールがアルツハイマー型認知症に伴う行動心理障害(BPSD)に適応追加となるなど、認知症診療については話題のつきない1年となった。2024年の掉尾にあたり本年の認知症診療を振り返るとともに、2025年の認知症診療を展望してみたい。【古和記】

会員/
無料

Zoom視聴のお申し込み

URLまたは二次元コードからお申し込みください。Zoom視聴は保険医協会会員のみです。会員外の方には薬剤師研修センターの単位付与もできません。

<https://x.gd/T8KQl>



来場参加 FAX 078-393-1820

歯科部会

歯科定例研究会

日時 2025年1月12日(日) 午後2時～5時
会場 兵庫県保険医協会 5階会議室(オンライン併用)

病気をもった高齢者が歯科医院に来たらどうしますか？
 一既往歴/服用薬剤確認の基本・歯科でくすりを処方するときの注意点一

講師 公立八女総合病院歯科口腔外科部長 松村 香織先生

高齢者の増加により、要介護者の増加が特に問題視されていますが、一方で外来通院のできる高齢者も多く存在します。一般歯科診療所の外来でも全身疾患に対し多くの薬剤を投与されている患者さんの診療をされることが多くなっているのではないのでしょうか。病気をもった有病高齢者に対しては歯科治療を行う前に全身疾患や服用薬剤を把握し、医科と連携して対応することが重要です。

また、私たち歯科医師は、日常的に抗菌薬や鎮痛薬などを処方していますが、特に高齢者に対しては処方薬の選択基準や医科処方薬との相互作用に関する知識をもって対応しなければ大きなトラブルにつながる可能性があります。安心安全な歯科治療のために、本講演では問診による全身疾患や服用薬剤の把握、医科との診療情報連携のしかた、有病高齢者への処方のポイントを中心にお伝えしたいと思います。【松村記】

会員/
無料

Zoom視聴のお申し込み

URLまたは二次元コードからお申し込みください。

<https://x.gd/utk1k>



来場参加 FAX 078-393-1802 お問い合わせ ☎ 078-393-1809

地域医療部

※満席となりました

ポイントオブケア超音波ハンズオン

日時 12月14日(土) 2部制(いずれかのみ参加)
 第1部:3時30分～/第2部:6時～(各1時間30分)

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室
講師 超音波医学会指導医、東神戸病院内科・訪問診療医師 水間 美宏先生
定員 1、2部とも各3人(看護師のみ。先着順・事前申込制)

※必ず予習動画(資料付)を視聴の上ご参加ください。参加されない方でも動画視聴は可能です。

【予習動画】



【資料】



お申し込み

FAX 078-393-1820またはメールyamada-t@doc-net.or.jpまで

お問い合わせ ☎ 078-393-1840

Zoom視聴可能な行事の申し込み方法(協会会員のみ)

申し込み方法が明記されていない場合、メールの件名を研究会名にし、本文に①医療機関名②お名前③電話番号一を記載の上、研究会前日までichyogo-hok@doc-net.or.jpへ送信してください。案内メールを返信します。

文化部

※キャンセル待ちとなりました

蕎麦打ち体験

日時 12月1日(日)
 午前10時30分～午後2時

会場 長田区文化センター別館ピフレ料理教室

参加費 大人2,000円 子ども1,000円 **持ち物** エプロン、タオル等

定員 36人 **指導** (社)全麵協講師陣

「挽きたて、打ちたて、湯がきたて」の新そばの魅力をお楽しみいただける、年末恒例の「蕎麦打ち体験」企画をご案内致します。今回も、講師が打った蕎麦を「ぶっかけ」の形でお召し上がりいただけます。ご自身が打たれた蕎麦は、お持ち帰りの上ご堪能ください。ご家族、スタッフのみなさんお誘いあわせの上、ご参加ください。



お問い合わせは

兵庫県保険医協会文化部担当事務局 ☎078-393-1809 吉永まで

お申し込み FAX 078-393-1802

歯科部会

歯科施設基準研究会

会員歯科医師限定!

日時 2025年2月16日(日) 午後2時～5時30分

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室

講師 姫路赤十字病院歯科 歯科口腔外科部長 藤原 成祥先生

定員 80人

参加費 1人 1,000円(受講証当日発行)

第1部 「歯初診」「外安全」「外感染」

第2部 「根管強」「歯援診」「歯援病」

お申し込み・お問い合わせ ☎ 078-393-1809 FAX 078-393-1802

医院経営研究会 第447回例会

決算処理のポイント ～確定申告に向けて～

日時 12月14日(土) 午後2時30分～5時

会場 兵庫県保険医協会 6階会議室(オンライン併用)

講師 協会税務講師団 田中 雄司税理士

参加費 3,000円(医経研会員は無料)

入会随時受付!

Zoom視聴のお申し込み

URLまたは二次元コードからお申し込みください。

申し込み <https://tinyurl.com/47ku58nx>



来場参加 FAX 078-393-1820

会場

兵庫県保険医協会

元町駅から南徒歩10分兵庫県農業会館向かい
 神戸市中央区海岸通1丁目2-31 神戸フコク生命海岸通ビル

お問い合わせ ☎ 078-393-1801

<http://www.hhk.jp> 兵庫県保険医協会 🔍 検索